

青工高 PTAだより

2017

— 第56号 —

選挙権についてのアンケートを実施しました

選挙に行こう!

教頭先生ご挨拶・PTA活動

運動会

青工祭

ねぶた

各大会結果報告



青工祭開祭式
— 青工中庭 —

編集後記

運動会・ねぶた等の中からナイスショットを探す作業に苦勞しながらも、楽しくおしゃべりする大切な時間になりました。様々な行事で、近くで子供たちと触れ合う事が出来ました。3年間ありがとうございました。(広報委員 E3浅利)

PTAだより第56号 平成29年12月20日発行(毎年2回発行) 印刷所:長尾印刷(株)



青森県立青森工業高等学校

〒039-3507 青森県青森市馬屋尻清水流204番1

TEL 017-737-3600 FAX 017-737-3601 URL <http://www.aomori-th.asn.ed.jp>

青森県立青森工業高等学校PTA広報委員会 (渉外部) TEL:017-737-0330





自己肯定感を高く持つ事

教頭 瀬川 浩

地域に開かれた学校づくりの一環として行われている学校公開の日、PTA健全育成委員（保護者）と学校職員による朝のあいさつ運動が行われた。保護者・職員による声掛けに元気に挨拶を返してくれた生徒も多く気持ちよく学校生活を迎えられたと思う。しかし、中には挨拶を返さない生徒、軽く会釈だけの生徒もいたようだ。

名前を呼ばれても返事をしない。挨拶をされても返してくれない時、再度促すことがある。声を発しない理由は「見えているから居ることは確認できる」とか「軽く会釈した」である。これらの行動は、自分の存在否定だと思う。実は自分に見えている姿は、他人からは見えていない幻想かも知れ

ない。だから挨拶は「自分はここにいますよ」と自分をアピールする絶好の場面だと思う。自分という存在を肯定する行為は、自分に安心感を与える。だから声を発してほしいと伝える。自己肯定感を持つ事は、自分をさらけ出す事ができ、多くの場面で他人に感謝、親切に心を開くことができ、自分が積極的になれるし、相手にも好印象を与える事ができ、良いことばかりである。

存在の確認と言えば、電話をかける時「もしもし」で始める。昔は電話の性能が悪く、聞き取りにくかった為、通話相手に言葉を発する必要があった。「申す申す」つまり、「これから話しますよ」の短縮が「もしもし」になったという説がある。電話機の出始め、まだ魔物や妖怪の存在が信じられ

ていた。暗い見えない場所にいる魔物は話しかける時「もし」と1回だけ声をかけるものと思われていた。だから「もしもし」と2回繰り返す事は「私は魔物ではないので安心して下さい」と受話器から聞こえる自分と見えない相手に安心感を与える行為であった。

最近、SNSやプロフ、ブログ等への書き込み、メール等への誹謗中傷やいじめ、嫌がらせの新たな問題が毎日のように報じられている。原因は通信機器の目覚ましい発達によるパソコンやスマートフォンの奥の見えない暗い所に潜んでいる魔物の仕業かもしれない。自分を肯定する元気な返事や挨拶で声を発し魔物を追い、自分を積極的にアピールしてほしい。

あいさつ運動を終えて

健全育成委員長 横内 真



「おはようございます！」期待以上の元気な挨拶。

あいにくの天気でしたが雨雲を吹き飛ばすような声でした。10月2日（月）～4日（水）PTA健全育成委員あいさつ運動を実施いたしました。

第1回目ということで、この場をお借りし趣旨をお伝えしたいと思います。学校・家庭・地域において挨拶・声掛けを励行することで人とのつながりを再認識して、学校・家庭・地域みんなで青少年を守り、育てていこうとする意識を高め良好な人間関係を形成する。

朝の登校時間帯に学校正門に立ち子供たちと挨拶

をかわす。照れくさそうに挨拶する子や、まだ眠そうな子、先生と会話をしコミュニケーションに長けている子。個性豊かな工業生を見れ、参加して楽しかったです。

この活動は子供たちとの距離がとて近く、登校指導とあわせて継続していただきたいと思います。



秋の交通安全指導



あいさつ運動

高等学校PTA連合会《東北大会&全国大会》



盛岡大会

7月7日盛岡大会、8月24、25日静岡大会が開催され、盛岡大会では大室PTA会長をはじめとした保護者5名と渉外部の今先生、松井先生、静岡大会では同じく大室PTA会長をはじめ、保護者4名と渉外部2名が参加しました。

盛岡大会では「描け ドリームマップ」～世界への架け橋を郷土から～、静岡大会では「有徳の人」づくり～未来のために行動する「一人」を育てよう～のテーマでそれぞれ代表校による研究発表と基調講演がありました。子育てと人づくりについて考える良い機会となりました。

（広報委員 R1本間）



静岡大会

模擬面接会



9月16日から始まった就職試験選考に向けて、9月2日（土）9時から保護者15名による模擬面接会がありました。

保護者に対して先生からの事前説明では、生徒を泣かせないようにとの注意があり、面接官役の保護者2～3人が1グループ5～6人の生徒に15分程度の面接を行いました。暗記していたことを忘れて止まったり、想定外の質問に言葉に詰まったりと、生徒からは「先生と行った面接練習とは違う緊張感があった。」という言葉が聞かれましたが、一方の面接官も緊張していました。ただ、瞬きもしないで一生懸命答える姿や、真面目に応じる様子に好感を覚え、低い評価はつけないことが出来ないと話す面接官もいました。

（広報委員 R1本間）



模擬面接評価シート

A3教室 第1組

	声の大きさ	話す内容	話す態度・姿勢・視線	全体的な評価
1 志望の動機、希望する仕事内容				
2 目標・将来の夢				
3 高校生活で特に頑張ったこと				
4 長所・短所、自己PR、気になるニュース等				

研修委員活動を振り返って

研修委員長 福井 一美



思い起こせば3年前、クジに当たったような委員でしたが、先生方や他の委員の方々のご協力により、何とか務めさせていただきました。忙しい時もありましたが、様々な物作り体験ができ、たくさんの方々と知り合いになり、いろんな経験をさせていただき、とても楽しかったです。

学校との関わりも今年で最後となり、寂しさもありますが感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になりました。



第2回研修教室（ライス作り）

県産品を使って楽しくランチ

9月30日の第3回研修教室では、倉石牛を使った「牛肉と長芋のコロコロステーキ」・嶽きみのバターライス・ホタテといんげんの吸い物・南瓜と彩り野菜のサラダ・簡単ブラウニーケーキという、盛りだくさんの内容でとてもおいしくいただきました。

（広報委員 A2井筒）



第3回研修教室（料理）

★PTA活動内容★

7月6日～7日	東北高P連大会
22日	第2回研修教室
8月24～25日	全国高P連大会
9月2日	模擬面接会
13～15日	秋の交通安全指導
30日	第3回研修教室
10月2日～4日	あいさつ運動
13～15日	青工祭
21日	青工PTA研修旅行



青工PTA研修旅行
（秋田県角館市の武家屋敷にて）

広報委員を振り返って

広報委員長 鏡 早苗



スマホの普及でいつでも撮影でき、情報の共有も早くできるようになりましたが、簡単に良い写真が撮れないのが悩みです。興味を持って読んでもらえるような紙面を目標に、文字数少なめ写真多めの広報誌となっています。他の委員と比較すると学校に行く回数が多いですが、得られる事も大変多いものでした。





平成29年7月21日 青森県総合運動公園 陸上競技場

都市環境

運動会

建築

情報技術

電子

電気

電子機械

機械



最夏の夏 最熱の運動会

音響機器の故障の為、音程の不安定な国歌斉唱。ハミングでのラジオ体操、大爆笑で始まった開会式。もつめの多い青工運動会は、仕事を休んででも見に行く価値あり！！
総合優勝は**機械科**！！



800m競争



綱引き



長縄跳び



1年 棒引き

真ん中に置かれた棒を自分の陣地に持ち帰るのですが、都市環境科が強かった！

今年こそチームワークの良さを見せつけろ！！

何でも食い競争



今年の何でも食いは、～恐怖のマヨネーズ攻め～。マヨネーズ何本使うの！？



気合いれていくぞー！



オー！



2年 むかで競争



開会式

生徒会長の国歌斉唱が響きます。



長縄跳び



借り物(人)競争

様々なお題がありましたが、その中に「理不尽な人」というのが……。え？誰！？どこにいる！？



PTA・職員 玉運び競争

テニス・バドミントン・卓球の各ラケットとおたまの4種の中から早いもの順で拾い、ピンポン玉を運びます。この勝敗が各色の得点に！？



3年 騎馬戦

馬を信じて勝ち取れ！



リレー



得点中間発表



3年 20人21脚

息ぴったりです！



前日の準備で綺麗に飾り付けされたPTA展示
14日は安田先生を迎えフラワーアレンジメント講習をしました



昨年より2週間程早い開催となった青工祭、芸や味そして各科・各部ならではの技の数々が披露されました。

青工を知り尽くすクイズ王R1増田匡胤さん・R2小向颯樹さん・R3貝森玄武さん、昨年に続き今年も都市環境科が優勝した味コン「じゃがチー」(女子力発揮!?)、女子も喰る女装の君U2正木亮さん。

歌って踊って語るステージの中に、数年後テレビで活躍する人もいるのでは?

賑やかな祭りの後、しっかりと片付ける頼もしい面々。ふと手を止め轟音と共に走り去るランボルギーニ社の「ウラカン」をいとおしそうに見送る男子達の背中に、ものづくりの原点を見た思いがしました。



誰が一番になるのかな?



クラスねぶた A2優勝!



クラス看板 A2優勝!



仕込んで...



売って~



また仕込んで...



また売る!!

イカ高騰!!

昨年まで好評だったのに今年は泣く泣く販売をやめ、ジャンボこんにやくを一杯売りました。お馴染みのイカ焼き食べたかったですか?

300円なら買いたい
(再販希望)
47%

他のメニューで良い
53%

(アンケート「PTAの売店で昨年販売していた『イカ焼き』について」)

いよいよ 青工会館建設に向けて動き出します!

今年度の収益金は、こんにやく・肉まん合わせて29,725円でした。

青工会館建設に向けて設立された「青工会館建設協賛基金」に寄付しました。皆様のご協力に感謝いたします!



女装コンテスト優勝!
35億うなずく美貌



花壇自動車大学校からランボルギーニの「ウラカン」と、モータースクールから「ニヤモタン」が遊びにきてくれました。



知る人ぞ知る 手踊いの名手



あなたは何仮面??



本日の焼きいも焼き上がり予定時刻
① 9:40
② 11:20
③ 13:00
④ 14:40

※おイモ君の体調により前後する場合がありますので、並んでお待ちください!!



味コン U3優勝! 源たれ使用の特製やきそばも大好評!



ねぶた

今年も 8/2 ~ 8/4 出陣

25年連続の青工担ぎねぶた。
今年「浪岡伝説 一戸三之助 豆坂の妖狐退治」
「うちの子よりイイ筋肉してる」
「こんなかわいい女の子欲しかった」
などと囁くお母さん達に着付けしてもらって、
涼しい夏でもアツく出陣！



歴代ねぶたの嫁ぎ先

あれ？見たことあるねぶたが他のお祭りに！青工ねぶた部力作のねぶた達。
夏が終わっても活躍しています。今年のキツネの嫁入り先は…？

青森県立青森工業高等学校

H28製作



H24製作



H25製作



H26製作



H27製作



青森市 ニコニコ通りのマンションにて常設展示

東京都、中野区へ
「復興大祭典なかの」で現在も活躍中

秋田市
川向自治会子供会へ

選挙に行こう！

《アンケートを実施しました》

18歳から選挙権が認められ2年が経ちました。
昨年アメリカ大統領選や10月の衆議院選などは
メディアにも多く取り上げられましたので、生徒
達の間でも話題になったのではないのでしょうか。
親としては責任のある1票を持つ我が子にまだ
不安を感じますが、日本という国について、選
挙権について、ご家庭でも話す機会を作って欲し
いと思います。

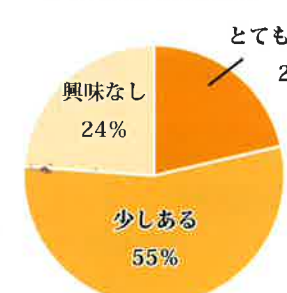
【保護者に聞きました】
政治や選挙権について
生徒と家庭内で話をしましたか



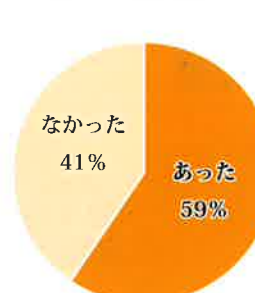
9割の生徒が「選挙に行こう
と思う」と答えてくれました

【生徒に聞きました】

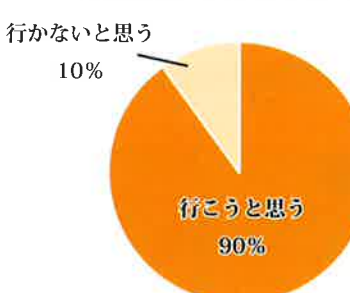
政治について
興味の度合いは
どの程度ですか



選挙権について
家庭内で話をする機会が
ありましたか



選挙権について
18歳になったら投票に
行こうと思っていますか



【学校での対応について】

瀧野 晃希 先生

選挙権が何のためにあるのか。政党とは何なのか。政治とは何なのか。ひいては生活とは何なのか。それらを広い視野でとらえるために、憲法やその他の法律、社会的事象について具体的な授業を行うよう努めています。

今 正三 先生

本校では2年次の「現代社会」の授業で「選挙」の単元があるので、そこで選挙権獲得の歴史をはじめ、選挙権の大切さについて多めに時間をさいて授業をしている。また、昨年は選挙管理委員会の担当者に来校してもらい、選挙の「出前講座」を実施し生徒に立候補させ「立候補者演説会」や投票箱を使った「模擬投票」、「当選者挨拶」などを実際に行った。生徒が主権者としての意識を持てるような取り組みを行っている。

一戸 俊秀 先生

本校では、1学年の3学期の最後に、「私たちが拓く日本の未来」(総務省・文科省著)の冊子を使い、選挙権についての授業を行っている。また選挙に関しては、2学年で履修する「現代社会」の授業で学習することになっている。本校生徒の選挙に関する意識は、残念ながら決して高いとは言えない。昨年に実施したように、県選管が実施している模擬投票などを、ホームルーム活動で実施した方が、生徒も理解しやすいと考える。



平成29年度 新人戦 (秋季大会) 結果報告

団体ベスト8
個人3位以上
掲載

ボクシング部

学校対抗 2年生の部 第1位
1年生の部 第1位



2年生の部	
ピン級	第1位 坂本俊輔
フライ級	第2位 手塚懸嵐
バンタム級	第1位 秋田谷柊馬
ライト級	第1位 古川龍之介 (最優秀選手賞)
ウェルター級	第1位 小枝恭
1年生の部	
ピン級	第2位 大川侑来
ライトフライ級	第1位 赤平七海
	第2位 千葉大地
フライ級	第1位 赤平海音
ウェルター級	第1位 山内雅季

ヨット部

男子420級 第1位 青工A(奥崎・佐山・遠嶋)
第2位 青工B(小笠原・眞山・五十嵐)
第3位 青工C(三浦・杉田・川岸)

男子シングルハンド 第2位 木村英竜
第3位 野呂隆宏

全日本バレーボール高等学校選手権大会

バレーボール部

青森県代表決定戦
準々決勝
青工 2 - 0 むつ工
準決勝
青工 0 - 2 五所川原工



卓球部

男子学校対抗1部
予選リーグ 青工 3 - 0 弘前東
青工 3 - 0 六ヶ所
決勝トーナメント
青工 3 - 1 八戸
青工 0 - 3 弘前実

男子学校対抗2部
1回戦 青工 2 - 0 青森南A
2回戦 青工 2 - 0 十和田工B
3回戦 青工 1 - 2 八戸

山岳部

学校対抗 第5位

青森県秋季陸上選手権大会

陸上競技部

個人 第3位 成田直樹

バドミントン部

男子学校対抗
2回戦 青工 3 - 0 弘前東
3回戦 青工 3 - 0 八戸工
準々決勝 青工 3 - 0 弘前南
準決勝 青工 0 - 3 浪岡



ラグビー部

準々決勝 青工 7 - 5 青森山田
準決勝 青工 0 - 91 青森北
3位決定戦 青工 7 - 24 八戸西



ボウリング部

個人戦 第1位 大室勝幸
(ハイゲーム・ハイシリーズ賞)

男子学校対抗 第6位
2人チーム戦 第4位 青工A(大室・奈良)

1回戦は1ゲーム目248点、2ゲーム目202点と取り最適のコースを見つけた3ゲーム目、周りのざわつきを聞きつつ自分をコントロールし、公式戦で初めてパーフェクト300点と自己最高の750シリーズを達成しました。毎回1フレの1投目だと自分の気持ちをコントロールし、運も味方につけつつ予選を1位で通過、高校の大会で初タイトルとなりました。

先生方や家族、部員のみなさんのおかげでここまでできました。本当にありがとうございました。来年3月の沖縄での全国大会に向け、体力や技術面はもちろん精神面もさらに鍛え、上位入賞できるように頑張ります。

(建築科2年 大室勝幸)



第62回 青森県高等学校家庭クラブ 連盟研究発表大会

優秀賞 家庭クラブ

第41回 全国高等学校総合文化祭

写真部門
奨励賞 「TONGUE 舌」 佐藤天斗

私にとって、今回が最初で最後の全国大会への参加でした。私は撮影会や交流会を通して、写真への関心をより一層深めることが出来たと思います。大会で学んだ事を今後の活動に積極的に活かしていきたいです。

(情報技術科3年 佐藤天斗)



祝 ドバイアジアユースパラ大会出場決定！ 全国障害者スポーツ大会優勝！

吉田 知樹 (機械科2年)

10月28～30日「第17回全国障害者スポーツ大会えひめ大会」(障害者の国体)に100Mと砲丸投に出場予定でした。

今年のいわて大会に出場しどちらも2位でしたので、リベンジをしたいと思います。しかし初日から、あいにくの台風で中止になった競技もあり、砲丸投もその中の1つになってしまい残念でした。

今回青森県は、全員自己ベストを目標にしていたが、悪条件のため皆なかなか目標に届くことができませんでした。自分は2日目に行われた100Mで、自己ベスト更新はできませんでしたが優勝することができ、青森県勢の中で唯一、金メダルを取れて嬉しかったです。

そして初めて騎手を務め、決意表明を宣言する機会をいただき、貴重な体験をさせていただきました。

次は、12月10～13日に今年最後の大会「ドバイ2017アジアユースパラ競技大会」に日本代表で出場することになったので、全力で戦ってきます！

(機械科2年 吉田知樹)




第38回 青森県高等学校 総合文化祭

優秀賞 写真部

写真部門
優秀賞 三上里咲
優良賞 齊藤由貴
吉田脩人
鎌田恭輔

第7位 放送部

テレビ番組部門 第7位

この作品を撮ろうと思ったきっかけは、クラスメイトの何気ない一瞬を撮った時にとてもいい一枚が撮れたので、他にもいい表情が撮れるのではないかなと思ったからです。特に難しかったところは、昼休みや放課後など自然体での撮影が多かったのでピントを合わせるのがとても大変だったことです。

(都市環境科3年 三上里咲)



優秀賞「クラスメイト」

第64回NHK杯全国放送コンテスト 優秀賞

「過去の栄光はゴミなのか？」

監督：情報技術科3年 蝦名瑠夏
電気科3年 荒閑麻鈴
電気科3年 白川颯人

7月27日、第64回NHK杯全国放送コンテストが渋谷NHKホールにて開催されました。

放送部の甲子園と言われるこの大会に、青工放送部は連続出場9年目、テレビドキュメント部門で全国753作品中優秀賞(3位)を勝ち取りました。

準々決勝・準決勝と進む中、審査に時間がかかり発表時点で落選が疑われました。それだけに「優秀賞、青森県立青森工業高校」のアナウンスは、声があがる程の驚きと共に将来の夢が具体化した瞬間でした。

—先輩方の栄光の軌跡であるトロフィー・楯・賞状・横断幕の数々。大切に保管してもたまるホコリに苦慮し有効利用を。先輩は、過去の栄光を目標にするも参考にするも「自由」と語る。結果を目標に頑張れる。過去の栄光は「希望」。

(広報委員 U3新野尾・R1栗原)



横断幕を機材バッグに

第25回 全国高等学校ロボット競技大会 青森県予選会

優勝「ヒックベン」
情報技術科2年 越田恵斗・後藤海・大森潤哉

5位 アイデア賞「キラガクレキョウコ」
情報技術科2年 三上亮・和田一輝・花田英司

9月9日弘前工業高校で行われた予選会へは県内の工業高校より12チームが参加した。

全国大会の会場となっている秋田県の「秋田竿燈まつり」をモチーフに田んぼに実った「稲穂」をペットボトルで表し、リモコン型ロボットによって竿燈まつりの骨組みに取り付けていく作業の中、ペットボトルを取り付けた数やロボットの動きにより点数がつけられ競われる。

今回優勝とアイデア賞を獲得した「情報技術系ロボット班」は、顧問が赴任してから立ち上げ、2年目にして優勝となり更なる向上を目指し奮闘している。

(広報委員 S2三上)